

令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 山崎 栄喜】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
1. 財政運営について	<p>今議会に、令和8年度予算が上程された。</p> <p>予算書を見ると、基金だよりの財政運営となっていて、将来に不安を感じる。</p> <p>令和8年度当初予算の概要資料をみると、財政調整基金が令和6年度末残高が9億9,476万1千円あったものが、令和7年度末見込残高は令和6年度比1億7,925万2千円減の8億1,550万9千円に、さらに令和8年度末見込残高は令和7年度比1億9,989万4千円(約2億円)減の6億1,561万5千円になる見込みである。</p> <p>そこで、次の点について村長に伺う。</p> <p>① 財政調整基金の令和7年度末残高見込額が、令和6年度末より1億8千万円ほど減少する見込だが、令和7年度中の取崩額と積立額はいくらか。また、基金残高が減少した特別な事情があったか。</p> <p>② 過去何度も財調整基金の減少を指摘してきたが、村長は、予算では地方交付税を実際の交付見込額より低く抑えてある、今後も健全財政を維持できると答弁されているが、実態は先ほど述べたとおり基金残高は減少している。これで、今後数年で財政運営に支障をきたす、あるいは基金が枯渇することがないか。ない場合には、その根拠を明確に示してほしい。</p> <p>③ 健全財政維持のため、私は昨年12月議会において、村の規程で定めのある庁内行財政改革推進委員会の開催を求め、江田議員の同様な質問に対して「庁内の検討については随時しっかりとやっていきたい」との答弁があった。委員会を開催したのか。まだ開催していないのであればいつ頃開催するのか。</p>	村 長

令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 山崎 栄喜】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
2. 集落支援員制度の活用について	<p>集落支援員制度は、国から特別交付税措置のある大変有利な制度で、集落支援員は全国的に毎年増え続け、様々な業務にあたっている。本村には現在集落支援員が6名いるが、財政力が弱く、過疎・高齢化が急激に進行する本村では、集落の維持・活性化のために有効に活用すべきである。</p> <p>そこで、次の点について村長に伺う。</p> <p>① 新規作物の導入や特産品の開発を行うために、農業改良普及員経験者などを集落支援員として募集できないか。</p> <p>② 福島県喜多方市では野菜の直売所の運営に、新潟県糸魚川市では高齢者サロンの開催に集落支援員を活用している。本村でも活用できないか。</p> <p>③ 複数の集落を掛け持ちでよいが、人口減少と高齢化が進み、人材が不足している集落の事務を支援する集落支援員を募集できないか。</p>	村 長